

令和 7 年度(2025 年度)
豊中市市民ホール等
事業報告書

令和 8 年 5 月

豊中市市民ホール等指定管理者

JCD・日本管財・大阪共立グループ

[目 次]

1. はじめに（事業の総括）	2
2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について	4
3. 市民ホール等の基幹事業に関する業務	
(1) 鑑賞事業	5
(2) 普及事業	6
(3) 人材育成事業	6
(4) 情報提供事業	12
(5) 相談事業	12
(6) 友の会事業	13
(7) 広報・宣伝事業	14
4. 施設の運営に関する業務	
(1) 貸館事業（施設の提供）	18
① 施設利用状況表	18
② 施設来館者数集計表	19
③ 各施設の利用状況について	19
5. 施設及び設備の維持管理に関する業務	
(1) 舞台の管理に関する業務	20
(2) 施設及び設備の維持に関する業務	21
(3) コミュニケーションロビー、ビュッフェの活用	22
(4) 託児サービス及びキッズルーム	22
6. 運営組織についての報告	
(1) 職員研修の取り組み、SDG s の推進等	23
7. 収支報告書	24

1. はじめに（事業の総括）

豊中市市民ホール等指定管理者 JCD・日本管財・大阪共立グループは、「豊中市市民ホール等の管理運営に関する基本協定書」「令和 7 年度協定書」及び「令和 7 年度事業計画書」に基づき、施設の管理運営業務を実施した。本報告書は、基本協定書第 25 条の規定に基づき、令和 7 年度の業務実績を報告する。

第 2 期指定管理期間の最終年度にあたる本年度は、事業計画書で定めた基本方針に基づき、管理運営業務サービス水準の維持向上に努めるとともに、業務仕様書の基準に沿った業務推進、また、「豊中市文化芸術推進基本計画」等の関連上位計画との整合を図りながら、独自の人材育成事業や鑑賞事業の実施、劇場ブランドの強化を推進した。各施設に与えられたミッションの達成を目指し、中長期的視点での事業展開を図った一年であった。

施設運営においては、例年通り施設間の連携や情報共有に積極的に取り組み、4 施設の包括的かつ効果的な管理運営体制の構築とさらなる利用者サービスの質の向上に努めた。

今年度、中ホール（アクア文化ホール）において、雨漏り等に関する改修工事のため、5 か月間休館（4 月～8 月）となった影響で、年間来館者数が昨年度より 51,827 人下回ったが、後半の利用率が 89.7%と、そのポテンシャルの高さは来年度以降も大いに期待できる。

文芸センターの大ホール・中ホール・小ホール及びローズ文化ホールに限定した利用率では、86.3%と非常に高い利用率を達成した。また、自主事業にも継続して積極的に取り組んだ結果、年間来館者数は 470,992 人にのぼり、非常に多くの方に利用いただき、無事故で運営することができた。特に、市民ギャラリーは「オープンギャラリー」等のこれまで利用のなかった層の方に来場いただける機会創出に取り組み、多くの来場者を迎えることができた。

また、開館からアクア文化ホールが 41 年目、ローズ文化ホールが 36 年目、伝統芸能館が 30 年目、文化芸術センターにおいても 9 年目を迎え、課題である設備や備品の経年劣化に対し、各種保守点検や修繕工事が欠かせない状況になってきている。伝統芸能館においては、来年度に多目的ホール空調機の更新工事等を予定しており、令和 9 年度には大規模改修工事の検討を進めている。

他施設においても稼働の合間や休館日を活用したメンテナンス実施など、市民利用を圧迫しない工夫した取り組みを検討し、引き続き利用者に満足いただけるサービスの提供に努めていきたい。

当年度の文化芸術事業は、鑑賞・普及・人材育成の三事業を相互に関連づけながら実施し、多様な主体の参画の下、文化芸術の担い手の育成、市民参加の促進、及び鑑賞機会の充実を図った。特に、事業間の接続を意識した展開により、参加から実践、鑑賞へと至る流れが形成され、取り組みの広がりや連動性の向上が確認された。人材育成事業では、「とよなか ARTS ワゴン」を基盤とした実践機会の提供を通じて、活動分野の多様化と新たな担い手の育成が進んだ。

普及事業では、体験から創作・発表までを一体的に行うプログラムを拡充し、多様な市民参加を促進した。鑑賞事業においても、若手アーティストとの共創や多彩な事業展開により、質の高い鑑賞機会を提供し、一部公演では完売となるなど一定の成果を上げた。一方で、育成人材の活動継続、参加者の定着、新規鑑賞者層の開拓が共通の課題として残る。次年度以降は、

事業間の連携を一層強化し、継続的な関与を促す仕組みの構築と成果の可視化を通じて、地域における文化芸術活動の持続的な発展につなげていく。

広報・宣伝事業では、デジタルと紙媒体、屋外広告・パブリシティを組み合わせ、市民の日常生活のあらゆる場面で豊中市市民ホール等（以下、市民ホール等）の情報に触れられる環境づくりを目指して展開した。SNSにおける動画コンテンツの強化や有料広告の活用は情報リーチの拡大に寄与し、バス・駅といった公共交通機関を通じた継続的な広告掲出は、生活圏に根ざした施設認知の定着に貢献した。ウェブサイトの回遊性向上やサイト構造の整理など残された課題については、リニューアルも含めた改善策を検討・推進しながら、市民ホール等と地域をつなぐ役割を果たせるよう、取り組みをさらに深化させていく。

友の会運営においては、会員ニーズの多様化や情報・チケット購入環境の変化を踏まえ、特典中心型の従来制度からの転換を意識した取り組みを推進した。25歳以下対象の新プラン導入や近隣商店との連携優待、会員限定イベントの開催など、市民ホール等への愛着形成を重視した施策を展開し、継続的な関係構築を図った。年度末の会員数は目標に届かなかったものの、制度リニューアルに伴う移行準備において約6割の継続申込みが得られ、一定の定着が確認された。今後は、友の会を特典提供にとどまらない関係基盤として再構築し、市民とともに文化的価値を創造・発信する仕組みとして機能強化を図っていく。

体制面では、スタッフの継続率が全体を通して上昇し、安定した一年となった。文芸センターでは、館長・副館長の連携力向上を基盤に、既存業務やスタッフ体制の見直しを通じて業務の効率化を図った。また、毎月のJV会議継続によりJV間コミュニケーションの円滑化を一層進め、特に利用者サービス向上や不具合案件への迅速な取り組みに貢献した。

事業収支及び経営面では、利用料金収入が堅調に推移したことに加え、施設維持管理経費の縮減も相まって、安定的かつ効率的な運営を達成した。しかし、収支ともにいくつかの費目で計画数値との差異が生じた。

収入面では、利用料金改定による影響は少なく、想定を超える稼働率で推移したことにより、年間計で計画を大きく上回る収入を確保した。一方で、自主事業収入、友の会会費収入はそれぞれ予算を下回り、当初目標達成には至らなかった。自主事業の減収は、一部公演におけるチケット収入の伸び悩みや共催事業の成果が計画に及ばなかったことが主な要因である。友の会会費収入については、次期より友の会制度の見直しを予定していることから、積極的な継続利用の促進を行わなかったことも目標未達の一因である。

支出面では、人件費が予算を上回ったが、これは給与水準の維持向上や福利厚生費の増加によるものである。事業費のうち出演料及び委託料等については、事業計画の見直しや経費削減努力、公的助成金の獲得などが奏功し予算を下回る事業執行となった。また、事務経費に関わる物件費も予算を下回り、特に使用料及び賃借料においては、契約の見直しや再リースなどにより予算を抑制した。

精算対象の学校減免制度事業費、修繕費、備品購入費については、全体を相殺した結果、指定管理料のうち1,148,278円を返還する形となった。これらの結果、精算を含む市民ホール等全体の決算としては、収入額が支出額を約25,380千円上回る黒字決算となった。

各事業及び業務の取り組み実績の詳細については、以下に項を分けて報告を行う。

2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について

分類	サービスレベル評価項目	要求水準	R7年度実績	目標達成率
施設の 効用	文化芸術センター大ホールの年間平均利用率※	70%	86.1%	123.0%
	文化芸術センター中ホールの年間平均利用率	70%	89.7%	128.2%
	文化芸術センター小ホールの年間平均利用率	70%	99.3%	141.9%
	ローズ文化ホールの年間平均利用率	60%	70.1%	116.8%
	伝統芸能館の年間平均利用率	70%	76.7%	109.6%
	市民ギャラリーの年間平均利用率	60%	91.1%	151.9%
	文化芸術センター展示室の年間利用率	60%	77.2%	128.6%
	文化芸術センター多目的室の年間利用率	60%	92.8%	154.7%
	文化芸術センター、ローズ文化ホールの年間来場者数合計(人)	410,000	447,412	109.1%
事業	4ホール(文化芸術センター大ホール・中ホール・小ホール、ローズ文化ホール)で実施する事業の1事業あたりの平均参加率 参加率=1事業の来場者数/ホール設定席数×100)	50%	65.8%	131.6%
	友の会の会員数(人)	1,000	673	67.3%

※年間平均利用率＝一年度分の利用日数/一年度間の利用可能日数×100

※文化芸術センター中ホールは、令和7年4月～8月工事のため休館

市民ホール等の指定管理業務開始にあたり設定した「サービスレベル評価項目の目標達成状況について」の達成状況について、以下の通り報告する。

- ① ホール(文化芸術センターの大ホール・中ホール及び小ホール)の年間平均利用率は、91.7%(前年度 86.8%)となり、いずれのホールも目標数値の70%を大きく上回る結果となった。令和6年度の工事休館を経て再開したローズ文化ホールも、70.1%と目標の60%を上回る結果となっている。ホール別では、大ホールが86.1%(前年度74.2%)、中ホール89.7%(前年度86.3%)、小ホール99.3%(前年度100%)と、いずれのホールも、最高評価レベルの85%を上回る結果となった。伝統芸能館は76.7%(前年度79.9%)と前年数値を少し下

- 回る結果になったもののサービス水準を達成している。また市民ギャラリーは 91.1%（前年度 91.1%）と前年度に続き、最高評価サービスレベルに達した。
- ② 展示室、多目的室の利用率は、展示室 77.2%（前年度 83.6%）、多目的室 92.8%（前年度 89.9%）と、いずれの施設も目標水準の 60%を大きく上回る高い水準での年間稼働となった。主催事業の活用とあわせて、多様な情報発信や主催者への利用提案、意匠性と利便性の高い施設機能の周知が奏功した結果と考える。
 - ③ 文化芸術センター及びローズ文化ホールの年間来場者数は、447,412 人と要求サービス水準の 41 万人を超える数値を達成した。
 - ④ 4 ホール（文化芸術センター大ホール・中ホール・小ホール、ローズ文化ホール）での鑑賞型事業の平均参加率は 65.8%となり、目標水準を大きく上回る成果を得ることができた。コロナ禍以降、参加率は減少傾向にあったが、今年度は回復につなげることができた。プログラム構成を見直し、多彩でバランスの取れた内容としたことに加え、計画的かつ積極的な広報宣伝を行ったことが要因であると考えられる。参加率の算出対象事業は、各ホールを会場とする鑑賞型事業とし、客席設定数は各公演とも機材席等を除き、公演の種別や規模に応じた収容席数を基準とした。今後も魅力ある企画と積極的な広報活動を通じて、幅広い公演ジャンルにおける参加率の向上を図っていく。
 - ⑤ 友の会会員数については、令和 8 年 3 月末で有効会員数が 673 人と市の要求水準に未達となった。継続会員は一定数を維持できているものの、前年度の 710 人と比較してわずかに減少傾向が見られた。次年度の制度リニューアルを控えていたため、当年度及び次年度の併用キャンペーンを見送ったことも、会員数減少の一因と考えられる。

3. 市民ホール等の基幹事業に関する業務

文化芸術事業においては、鑑賞・普及・人材育成の各事業を相互に関連づけながら実施し、多様な主体の参画のもとで、鑑賞機会の充実、市民参加の促進、担い手育成を図った。事業間の接続を意識した展開により、参加から体験、実践へとつながる流れが形成され、取り組みの広がりや連動性の向上につながった。

(1) 鑑賞事業

本事業は、「若手アーティストとの共創」及び「多様なジャンルによるバランスの取れた公演構成」を方針に、質の高い舞台芸術の提供と多様な鑑賞機会の創出を目的として実施した。主軸事業「センチュリー豊中名曲シリーズ」では、日本センチュリー交響楽団との共同制作により、鈴木愛美、児玉隼人、喜古恵理香ら若手アーティストを迎えた公演を実施した。また、関連企画の写真展示を再構成した特別展を実施したほか、本シリーズを契機とした演劇作品「Play is Pray」の再演を行うなど、音楽公演を起点とした分野横断的な事業展開を実現した。

さらに、世界的オーボエ奏者シェレンベルガーによる室内楽プロジェクトや劇団壱劇屋のイマーシブシアターなど、多様で質の高いプログラムを継続的に実施し、幅広い鑑賞ニーズに対応した。

独自性の高い「とよなかアーツプロジェクト」では、林勇気によるメディアアート展「映／

像」を実施し、鑑賞者がメディアやコミュニケーションのあり方に関心を持つ機会となった。また、「TRANCE 2026」及び「文楽三味線×津軽三味線」はいずれも企画性・希少性の高い公演として実施し、高い関心を集め、チケットは完売となった。

加えて、「とよシネマ」「にほんのうた」等の継続事業により日常的な鑑賞機会を維持したほか、劇団四季などのファミリー向け公演等を実施するとともに、「こどもアートの日 2026」との連動により子どもや家族層の来場促進につなげた。

これらの取り組みにより、鑑賞機会の質・多様性・新規性のバランスが一定水準で確保された。一方で、新規来場者の定着や若年層の取り込みは依然課題であり、今後は広報手法の工夫と事業間連携の強化により来場者基盤の拡充を図る。

(2) 普及事業（伝統芸能館事業を含む）

普及事業では、多様な実演芸術の普及と市民参加の促進を目的として、参加・体験から創作・発表へとつながるプロセスを重視したプログラムを実施した。

「針山愛美ダンスプロジェクト」では、国内外で活躍するバレエダンサー針山愛美と共に、創作から発表までを一体的に体験する機会を提供し、主体的な表現活動を促進した。「とよなか邦楽 KIDS プロジェクト」では三味線コースを新設し、内容を拡充した。さらに、「とよなかダンス KIDS クラブ」を新たに導入し、放課後の活動の場として継続的な創造活動の機会を創出した。

「こどもアートの日 2026」では、音楽・身体表現・視覚表現を横断した体験・鑑賞・発表の機会を提供し、全館を活用した複合型事業として実施した。障害者啓発活動委員会との連携による作品展示や、市民アートコーディネーター育成プログラム受講者によるワークショップを通じて、幅広い主体が関わる事業展開となった。

また、伝統芸能館では「日本の伝統芸能にふれようワークショップ」に文楽を新たに導入し、多彩な伝統芸能に触れる機会の拡充を図ったほか、「詩吟の祭典」や「伝統芸能館まつり」等の継続事業も実施し、幅広い層への普及に取り組んだ。

当年度は、プログラム拡充が参加機会の増加につながり、アンケートからも一定の満足度及び継続参加意欲の向上が見られた。また、一部参加者が人材育成プログラムや鑑賞事業へと関与を広げるなど、鑑賞事業や人材育成事業への展開が確認された。一方で、単発参加にとどまるケースも多く、継続参加への導線設計や参加後の関与状況の把握が課題である。

(3) 人材育成事業

人材育成事業では「とよなか ARTS ワゴン」を中核に、文化芸術を介して地域と人をつなぐ担い手の育成を目的として実施した。文化芸術への参加意欲や関心を、実践的な活動へと発展させる過程として位置づけ、知識・実践スキルの習得機会を確保するとともに、アーティスト、ボランティア、学生など多様な主体が段階的に経験を積む機会を設けた。

アーティスト育成では、新たに 6 期生 2 名を加え、レジデント及び登録アーティストは計 13 名となった。主催事業への参画に加え、「お茶の間オーケストラ」(5 回実施)「オレンジカフェ」等の福祉現場での活動や、アウトリーチ事業「ふれアート」(市内小学校 16 校・延べ 100 コマ・約 3,000 人参加)を通じて、対象や環境に応じた表現実践の経験を蓄積し、活動領域の拡張と

実践力の向上につながった。これにより、文化・教育・福祉領域を横断する活動基盤の強化が進んだ。

市民向け事業では、「アートマネジメント講座」及び「市民アートコーディネーター育成プログラム」において講義と実践を組み合わせ、受講者が企画立案から実施までを担う機会を提供した。「レセプションист育成講座」では有償ボランティア 20 名が接遇・介助研修を受講し、現場対応力の向上を図ったほか、学生インターン 11 名に対しても事業運営補助等の実務機会を提供した。

これらの取り組みにより、地域における担い手層は着実に拡大した。一方で、事業終了後の活動状況の把握や育成効果の検証方法は十分に確立されておらず、継続的な活動につながる仕組みの構築が課題である。

鑑賞・普及・人材育成事業の概要は以下の表の通り。

【文化芸術事業実施一覧】

事業 番号	実施事業名	実施日	会場	形 態	入場料	集客		目標
						設定	実績	達成率
【鑑賞事業】								
●クラシックシリーズ								
1	ハンスイェルク・シェレンベルガー 室内楽プロジェクト in Toyonaka	5/3	大ホール	主 催	S 席 4,500 円 A 席 3,500 円 他	1,344	427	31.8%
2	アンサンブル・ならく ファミリーコンサート ららら・ならくのわくわく音楽会 in とよなか	6/1	展示室	共 催	一般 2,000 円 club CaT 1,900 円 他	180	171	95.0%
3	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.34 「風」 風を待つ	6/7	大ホール	主 催	S 席 4,500 円 A 席 3,500 円 他	1,344	693	51.6%
4	とよなか ARTS ワゴンフェスティバル 2025	6/14	ローズ文 化ホール	主 催	一般 700 円 club CaT 無料	308	128	41.6%
5	にほんのうた vol.16 ～こころの故郷～ 村松稔之	7/16	小ホール	主 催	一般 2,500 円 club CaT 2,000 円 他	404	250	61.9%
6	2025 ズーラシアンプラス サマー・ミュージック・フェスティバル 大阪公演	8/9	大ホール	共 催	大人 4,800 円 学生 4,300 円 他	1,344	1,293	96.2%
7	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.35 「鳥」 眠りながら飛ぶ	9/13	大ホール	主 催	S 席 4,500 円 A 席 3,500 円 他	1,344	577	42.9%
8	結成 50 周年記念ツアー ジャーマン プラス 大阪公演	10/10	大ホール	共 催	S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 他	1,344	1,041	77.5%
9	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻学生企画 思わず歌いたくなる！ クリスマス・ゴスペルコンサート	12/10	ローズ文 化ホール	共 催	一般当日 2,500 円 前売 2,000 円 他	308	163	52.9%

令和 7 年度(2025 年度)豊中市市民ホール等事業報告書

10	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.36 「月」冬の満ち欠け	12/13	大ホール	主 催	S 席 4,500 円 A 席 3,500 円 他	1,344	888	66.1%
11	とよなか ARTS ワゴン 柳野伽耶 マリンバ・リサイタル	1/30	小ホール	主 催	一般 1,800 円 club CaT 1,500 円 他	202	99	49.0%
12	大阪フィルハーモニー交響楽団 豊中演奏会	2/6	大ホール	共 催	A 席 4,000 円 B 席 2,500 円 他	1,344	1,104	82.1%
13	とよなか ARTS ワゴン 野村友輝 クラリネット・リサイタル	2/13	小ホール	主 催	一般 1,800 円 club CaT 1,500 円 他	202	80	39.6%
14	にほんのうた vol.17 ～生きるあかし 音にのせて～ 古瀬まきを	2/27	小ホール	主 催	一般 2,500 円 club CaT 2,000 円 他	404	267	66.1%
15	TRANCE 2026 シュトックハウゼン プロジェクト	3/13	小ホール	主 催	一般 3,500 円 club CaT 3,000 円 他	160	154	96.3%
16	山形交響楽団×日本センチュリー交響楽団 アンサンブル演奏会	3/25	ローズ文 化ホール	共 催	無料	308	250	81.2%
17	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.37 「花」初耳花言葉	3/28	大ホール	主 催	S 席 4,500 円 A 席 3,500 円 他	1,344	650	48.4%
●ポップスコンサート								
18	TATUYA ISHII SPECIAL CONCERT TOUR AD 2025 「MESSAGE III」	4/29	大ホール	共 催	S 席 10,000 円 A 席 9,000 円	1,344	1,138	84.7%
●ジャズコンサート								
19	ブラック・ボトム・プラス・バンド ハッピーパレード～ローズ春のわくわくフェス～	4/5	ローズ文 化ホール	主 催	一般 1,800 円 club CaT 1,500 円 他	308	112	36.4%
20	FM COCOLO 「World Jazz Warehouse」 第 11 回公開録音コンサート ～Groovin' Soulful Jazz～	10/31	中ホール	共 催	無料	446	256	57.4%
●シアターシリーズ								
21	ローズちびっこげきじょう vol.4 劇団うりんこ ベイビーシアター「MARIMO」	11/29	ローズ文 化ホール	主 催	大人 1,000 円 子ども 800 円 他	60	59	98.3%
22	劇団四季ファミリーミュージカル 『王子と少年』	1/10	大ホール	主 催	S 席 6,000 円 A 席 4,000 円 他	1,344	1,213	90.3%
23	Play is Pray	2/20・ 2/21	中ホール	主 催	一般 4,000 円 club CaT 3,600 円 他	892	436	48.9%

令和7年度(2025年度)豊中市市民ホール等事業報告書

24	MBS アナウンサー コトノハ ものがたりの世界 2026	3/14	大ホール	共催	大人 2,500 円 子ども 500 円 他	2,688	2,292	85.3%
●伝統芸能・邦楽								
25	文楽三味線×津軽三味線 - 伝統と革新の響宴 -	7/10	小ホール	主催	一般 2,500 円 club CaT 2,000 円 他	202	180	89.1%
●映画上映								
26	とよキネマ Vol.71 「シング・ストリート 未来へのうた」	4/18	小ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	606	263	43.4%
27	とよキネマ Vol.72 「1987、ある闘いの真実」	5/16	小ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	606	286	47.2%
28	とよキネマ Vol.73 「アンネ・フランクと旅する日記」	6/20	小ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	606	168	27.7%
29	とよキネマ Vol.74 「破戒」	7/18	小ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	606	425	70.1%
30	とよキネマ Vol.75 「夜明けのすべて」	9/19	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	430	32.1%
31	とよキネマ Vol.76 「麗しのサブリナ」	10/17	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	394	29.4%
32	とよキネマ Vol.77 「HOKUSA!」	11/21	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	684	51.1%
33	とよキネマ Vol.78 「リトル・ダンサー」	12/19	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	315	23.5%
34	とよキネマ Vol.79 「PERFECT DAYS」	1/23	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	610	45.6%
35	とよキネマ Vol.80 「パリのちいさなオーケストラ」	3/6	中ホール	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円 他	1,338	415	31.0%
●美術								
36	展示室特別見学会 豊中市所蔵エルミタージュ美術館コレクション 複製絵画展	5/3～ 5/6	展示室	主催	無料	—	352	—
37	景色をめぐる劇場（ストーリー）の中へ 豊中名曲アートワークス	6/5～ 6/15	市民ギャラリー	主催	無料	—	137	—
38	ギャラリー・サマーフェスタ 「みて・かいて・つくって とよなかアート探検！」	7/24～ 8/3	市民ギャラリー	主催	無料	—	236	—
39	とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画 林勇気 展「映／像」	2/1～ 2/15	展示室・多目的室	主催	無料	—	1,902	—

●複合型 フェスティバル								
40	こどもアートの日 2026							
	・劇団壱劇屋 「カチカチまねまねラビンス」	3/20	大ホール	主催	一般 2,500 子ども 500 円 他	180	174	96.7%
	・「だがつきスイッチ」コンサート	3/20	中ホール	主催	一般 1,000 円 子ども 500 円	404	233	57.7%
	・「キャキャット CAT で☆にやんにやんにや」	3/20	中ホール	主催	一般 1,000 円 子ども 500 円	808	195	24.1%
	・成果発表会「とよなか邦楽 KIDS プロジェクト」 ・成果発表会「とよなかダンス KIDS クラブ」 ・ヒューゲンアソピノバ ・デジタルアート展「音とあそぶ〜共遊楽器」 ・くらふとフルフル (市民アートコーディネーター育成プログラム受講者企画)	3/20	小ホール 小ホール 多目的室 展示室 ピロティ	主催	無料	—	延べ 1,196	—
	・出張版「これが、いいのだ。」展	3/18～ 3/21	市民ギャ ラリー	主催	無料	—	155	—
【普及事業】								
41	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.34 関連企画 ～情景がみえる、情感あふれる音楽の魅力～	4/30	多目的室	主催	無料	80	44	55.0%
42	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.35 関連企画 ～自然がみえる音楽の魅力、めっちゃ語るで！～	8/11	多目的室	主催	無料	80	46	57.5%
43	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.36 関連企画 ～美しく、叙情的なプログラムの魅力～	11/7	中ホール	主催	無料	80	23	28.8%
44	センチュリー豊中名曲シリーズ vol.37 関連企画 ～優美で幻想的なプログラムの魅力～	1/28	大ホール ホワイエ	主催	無料	50	16	32.0%
45	ここから始まるクラシック!! 邦楽編 ～箏・三絃 にほんの情景を辿る～	9/24	多目的室	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円	80	83	103.8%
46	ここから始まるクラシック!! 現代音楽編 ～TRANCE 2026 プレ特別企画～	1/17	多目的室	主催	一般 1,000 円 club CaT 900 円	80	59	73.8%
47	豊中市中学生舞台芸術体験事業 「ホールでオーケストラ♪」	2/3～ 2/5	大ホール	共 催	—	6,720	1,798	26.8%
48	豊中市小学生舞台芸術体験事業 「ホールでオーケストラ♪」	2/17～ 2/19	大ホール	共 催	—	6,720	2,989	44.5%
49	針山愛美ダンスプロジェクト Vol.9	7/21～ 7/28	展示室・ ローズ文 H	主 催	7,000 円 他	20	14	70.0%
50	とよなかダンス KIDS クラブ (ワークショップ)	2/19～ 3/19	ローズ文 化ホール	主 催	3,000 円/全 6 回	20	6	30.0%

51	とよなか邦楽 KIDS プロジェクト（ワークショップ）	2/28～ 3/19	伝統 芸能館	主 催	3,500 円／全 7 回	20	15	75.0%
52	ロビーコンサート 2025 柳野伽耶	7/17	大ホール ホワイエ	主 催	無料	50	34	68.0%
53	ロビーコンサート 2025 野村友輝	9/18	大ホール ホワイエ	主 催	無料	50	46	92.0%
54	ロビーコンサート 2025 柏本佳樹	10/16	大ホール ホワイエ	主 催	無料	50	60	120.0%
55	ロビーコンサート 2025 山崎恒太郎	11/20	大ホール ホワイエ	主 催	無料	50	65	130.0%
56	ロビーコンサート 2025 古楽アンサンブル Sofio Antico	1/20	大ホール ホワイエ	主 催	無料	50	79	158.0%
【普及事業／伝統芸能館事業】								
57	第 83 回豊中芸人倶楽部寄席	6/14	伝統 芸能館	主 催	無料	100	86	86.0%
58	第 84 回豊中芸人倶楽部寄席	10/18	伝統 芸能館	主 催	無料	100	90	90.0%
59	日本の伝統芸能にふれよう ワークショップ「文楽」	6/28・ 6/29	伝統 芸能館	主 催	無料	40	24	60.0%
60	日本の伝統芸能にふれよう ワークショップ「歌舞伎舞踊」	7/29	伝統 芸能館	主 催	無料	40	26	65.0%
61	日本の伝統芸能にふれよう ワークショップ「狂言」	11/24	伝統 芸能館	主 催	無料	20	8	40.0%
62	日本の伝統芸能にふれよう ワークショップ「和妻」	1/25	伝統 芸能館	主 催	無料	15	7	46.7%
63	日本の伝統芸能にふれよう ワークショップ「太神楽」	2/15	伝統 芸能館	主 催	無料	30	9	30.0%
64	伝芸 怪談×会談	9/21	伝統 芸能館	主 催	無料	100	86	86.0%
65	「ひろしま」一人語り	8/9	伝統 芸能館	主 催	無料	80	34	42.5%
66	詩吟の祭典 in 豊中	11/16	伝統 芸能館	共 催	無料	100	63	63.0%
67	邦楽鑑賞会 ～心に響く管絃の音色 vol.4～	12/7	伝統 芸能館	共 催	無料	100	76	76.0%
68	伝統芸能館まつり 2026	2/8	伝統 芸能館	主 催	無料	100	157	157.0%

【人材育成事業】								
69	とよなか ARTS ワゴン 「アートマネジメント講座」	通年	その他	主催	5,000 円／全 7 回	20	20	100.0%
70	とよなか ARTS ワゴン 「市民アートコーディネーター育成プログラム」	通年	その他	主催	4,500 円	20	8	40.0%
71	とよなか ARTS ワゴン アウトリーチ事業「ふれアート」	通年	その他	主催	無料	—	2,950	—
72	社会包摂事業「お茶の間オーケストラ」	通年	その他	主催	無料	28	28	100%
73	市民レセプションニスト育成講座	通年	その他	主催	無料	20	20	100.0%

(4) 情報提供事業

① 地域文化芸術情報の受発信

地域文化芸術情報の受発信の促進を目的として、館内のチラシラックを活用し、貸館催事や主催事業に加え、他館の文化イベントや催事情報についても積極的に配架した。これにより、来館者に対する多様な文化芸術情報の提供機会を拡充し、広域にわたる情報発信機能の強化につなげた。また、市民ホール等における一般利用者の催事情報については、公式ウェブサイトへの掲載に加え、市民ホール等が発行する情報誌「aperitif」にも掲載し、市内公共施設及び近隣都市の文化施設への配架を行った。これにより、地域内外に向けた情報到達の機会を拡充した。

② デジタルツールを利用した情報発信

施設ウェブサイトにおいては、市民ホール等各エリアのバーチャルツアーを導入し、来館することなく施設の特徴や細部を視覚的に把握できる環境を提供した。これにより、利用前に施設の利用イメージを具体化できるようになり、利便性の向上及び円滑な施設利用の促進につなげた。

ソーシャルメディア等を活用した情報発信については、後述(7)広報・宣伝事業に記載する。

③ 情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行等

※後述(7)広報・宣伝事業に記載する。

(5) 相談事業

① 施設利用に関する相談・アドバイス業務、ホール利用見学会、特化型相談会の実施

ホール等の貸館利用希望者を対象とした相談・見学会を毎月実施し、年間で 23 組 93 名に参加いただいた。また、個別の見学対応は年間で 49 組あり、合わせると年間 72 組の相談対応を

行った。見学・相談対応は、貸館の利用促進とともに、久しぶりに利用する方や初めての方に安心して利用いただくための機会となっている。

[文化芸術センターでの相談・見学対応実績]

見学・相談会													
4月		5月		6月		7月		8月		9月			
組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数		
2	8	1	1	1	3	1	3	2	15	4	32		
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
0	0	3	16	2	2	2	2	4	5	1	6	23	93

② 自治体や他施設、業界団体等の視察・見学への対応 等

全国公文協総会・研究大会（愛知大会）が愛知県芸術劇場で開催され、文芸センター館長、ローズ文化ホール館長、事業広報課長が参加し、他施設の施設担当者や事業担当者との情報交換を行った。自治体や他施設の視察・見学等受入では、文化芸術センターで11月に広島県東広島市、島根県益田市より市担当職員の受け入れを行った。

職員の参加研修・講習等の詳細は、後述の[教育訓練、研修セミナー等の実施]参照。

(6) 友の会事業

① 市民ホール等友の会（club CaT）組織運営、チケット優待サービスや会員向け情報発信

当年度は、会員ニーズの多様化や利用環境の変化に対応するため、従来の特典中心型から、市民ホール等への愛着形成を重視した会員制度への転換を見据えた運営に取り組んだ。集客力のある特定公演に依存しない継続的な関係構築を推進する中で、25歳以下を対象とした会員プランを新たに導入し、若年層へのアプローチを強化した。また、会員限定イベント「冬のスペシャルコンサート」（12月18日／中ホール）の開催を通じて、会員と市民ホール等との接点創出及び関係性の深化を図った。

その結果、当年度末の有料会員数は673名となり、目標の1,000名には達しなかったものの、制度見直しと並行して会員基盤の整備を進めた。

あわせて、次年度からの会員制度リニューアルに向け、鑑賞スタイルや関心に応じて選択可能な複数プランの導入準備を行い、既存会員への情報提供を段階的に実施した。これにより、年度末時点で約6割の会員から継続申込みがあり、一定の会員定着が見られた。

次年度以降は、情報取得手段やチケット購入環境の変化により従来の友の会制度の優位性が低下している現状を踏まえ、友の会を特典提供の枠組みにとどまらない、市民ホール等と市民が継続的に関わる関係基盤として再構築し、市民とともに文化的価値を創造・発信する協働の仕組みとしての機能強化に取り組む。

会員プラン	会員数	主な会員特典
club CaT	673	・主催公演チケットの会員先行発売 ・主催公演チケットの会員割引価格の適用 ・ホール情報誌「aperitif」の送付 ・近隣協力店舗による優待サービスの提供 ・「とよキネマ」ポイントカードのポイント2倍付与
club CaT U25	32	・主催公演チケットの会員先行発売（無料／オンラインのみ）

(7) 広報・宣伝事業

① 施設ホームページの運営

施設ホームページを運営し、施設、事業、各種募集、貸館催事等の情報発信を通年で行った。
(随時更新/目標 580,000PV/年)

豊中市市民ホール等4施設のホームページアクセス状況は以下の通り。

対象期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

主な評価項目	当年度（前年度／前年度比）
ユーザー数（訪問者数）	230,054（236,703／2.8%減）
セッション数（訪問回数）	411,011（399,402／2.9%増）
ページビュー数（閲覧ページ数）	919,521（938,016／2.0%減）

アクセス解析の結果、ユーザー数は前年度比2.8%減となったのに対し、セッション数は2.9%増加しており、既存ユーザーによる継続的な利用は維持されている状況にある。ユーザー数減少の背景としては、SNSによる情報発信の定着により情報収集手段が多様化し、ウェブサイトへの直接流入が分散している可能性が考えられる。また、情報発信全体としての接点は拡大している状況とも捉えられる。

ページビュー数は前年度比2.0%減となり、1セッションあたりの閲覧ページ数も低下していることから、サイト訪問時の回遊性には改善の余地がある。長年の運用に伴う情報の蓄積により、サイト構成及び導線の複雑化が進んでいることが一因と考えられる。これらより、既存ユーザーの定着という面では一定の成果が見られたものの、回遊性の向上及びサイト構造の整理は重要な課題である。今後は、ウェブサイトのリニューアルも含め、改善に向けた取り組みを進めていく。

② 情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行

市民ホール等における主催事業及び貸館公演の開催情報をはじめ、アーティストへのインタビューや作品の制作背景に関する特集記事等を掲載した情報紙「aperitif」を発行した。多角的な視点から構成した内容により、来場者が各種事業や公演をより深く理解し、楽しむことができるコンテンツの充実を図った。また、表紙イラストにおいては、市内の魅力的なスポットや、官民を問わず地域の賑わい創出に資するイベント等を紹介し、市民に親しみやすい紙面の構成に努めた。

[情報誌、催事情報カレンダーの発行部数]

発行物	発行回数/部数 発行日	備考
aperitif	年 6 回／隔月 5,000 部 奇数月 25 日	主催事業や貸館催事の情報を掲載。誌面デザインの工夫とインタビュー記事等の拡充により、訴求力の向上に努める。友の会会員への送付、市内公共施設や近隣文化施設への設置を通じて、幅広い層への情報提供を図る。
令和 8 年度 公演ライン ナップ	年 1 回／4,800 部 令和 8 年 3 月 5 日	次年度の主要な主催公演やイベント情報を掲載。年間を通じた事業への関心喚起と来場促進を図る。

③ 施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成

各館は、それぞれの施設パンフレットの作成・配布を行っている。利用料金の改定など、最新情報を届けるためのアップデート作業は随時行い、貸館利用の促進につなげた。また、4 施設の施設概要を一覧できるリーフレットを作成して各施設に設置し、利用者の相互利用促進を図った。

④ チラシ・ポスター等の作成

自主事業公演ごとにチラシやポスター作成のほか、自主事業公演ラインナップ、友の会会員入会促進チラシ、会員優待店舗を掲載したリーフレット等の作成を行った。

⑤ ソーシャルメディアによる広報・宣伝活動

当年度は、SNS の発信力強化及び運用改善に取り組み、Instagram・Facebook・X を活用して広域へのリーチ拡大を図った。媒体特性及び利用者層に応じた役割分担を整理するとともに、特に Instagram ではターゲティングを工夫した有料広告の展開と投稿内容の最適化を推進した。また、YouTube においてダイジェスト動画や出演者による解説コンテンツを公開し、各 SNS と連動させることで認知拡大と関心喚起を図った。その結果、Instagram ではリーチが前年度比 115.5% 増と大幅に伸長し、「いいね」や保存・共有などの反応、ホームページへのリンククリックも増加した。閲覧数はリーチの約 6 倍に達し、再訪・回遊を伴う継続的な閲覧行動が確認された。これにより、全体のフォロワー増加及び情報接触機会の拡大には、主に Instagram が寄与したものと考えられる。一方、Facebook では動画視聴の伸長に対して投稿への反応率の向上には至らず、X では露出は確保したもののエンゲージメント率の改善が限定的であった。今後は媒体特性を踏まえたコンテンツ設計の精度向上と媒体間連携の強化により、運用の最適化とさらなる効果向上を図る。

期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

SNS ツール	Instagram	Facebook	X (旧 Twitter)
投稿数	184	189	453
フォロワー数	1,573	2,332	2,446
閲覧数	223,512	371,480	—
リーチ数	37,457 (115.5%増)	—	—
インタラクション	2,035 (100%増)	5,119 (22.1%減)	—

※（ ）内は前年度比

⑥ 公演アーカイブ、成果報告書、効果測定調査報告書の作成

センチュリー豊中名曲シリーズ関連企画のダイジェスト動画を YouTube で公開したほか、林勇気展（アーツプロジェクト）の記録集を作成した。また、「こどもアートの日 2026」に関するイベントレポートをウェブサイトで公開した。

[公演アーカイブ及び成果報告書一覧]

事業名	概要	掲載媒体
センチュリー豊中名曲シリーズ 関連企画	公演プログラムの魅力や聴きどころを語るトークイベントの収録動画をダイジェスト版として公開	YouTube
とよなかアーツプロジェクト 林勇気展「映／像」	出展作品の記録及び論考を掲載	冊子
こどもアートの日 2026	公演レポート	WEB サイト

⑦ パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿

広告・パブリシティ活動においては、主催事業への来場促進及び施設認知度向上を目的として、各種広告出稿と継続的な情報発信を実施した。特に、バス車内広告及び最寄り駅での施設案内広告については、年間を通じて継続的に掲出し、公共交通機関を利用する地域住民に対する情報発信を行うことで、生活圏内における施設情報への接触機会の確保を図った。

また、パブリシティ活動においては、継続的なプレスリリースの発信により、イベントの事前取材や公演評の掲載につながるなど、一定の広報効果が得られた。広告出稿とパブリシティを組み合わせることで、主催事業のみならず、市民ホール等全体の取り組みに対する認知向上と情報発信力の強化につなげた。

次年度においても、継続的な広告出稿及びパブリシティ活動を通じて、施設や事業の枠を超えた市民ホール等全体の取り組みを発信し、顧客及び地域との接点強化を図っていく。

[パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿一覧]

媒体名（パブ掲載）	発行日（号）	掲載内容
地域創造レター	令和7年7月1日	とよなか ARTS ワゴン 事業紹介記事
日本経済新聞関西版	令和7年10月1日	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.35 「鳥」眠りながら飛ぶ 公演評
ステージナタリー	令和8年1月14日	「Play is Pray」紹介記事
読売新聞大阪版 読売新聞オンライン	令和8年2月9日	「Play is Pray」紹介記事
音楽の友 5月号	令和8年4月21日	TRANCE 2026「シュトゥックハウゼン プロ ジェクト」公演評

広告媒体種類	件数	掲載内容（広告種類）／出稿先（件数）
オンライン広告	2	公演案内（タイアップ広告） ・ぶらあぼオンライン（2）
SNS 広告	15	公演案内 ・Instagram、Facebook、X
新聞広告	16	公演案内 ・朝日新聞（9）、産経新聞（1）、読売新聞（6）
交通広告（年間）	3	施設案内（車内ポスター・駅舎ポスター広告・駅周辺案内図） ・阪急バス（1）、阪急電鉄（2）
交通広告（単回）	4	公演案内（車内ポスター・駅舎ポスター広告） ・阪急電鉄（1） ・大阪モノレール（2） ・北大阪急行電鉄（1）
フリーマガジン／ フリーペーパー	4	公演案内（純広告・タイアップ広告） ・音楽情報誌「ぶらあぼ」（1） ・阪急沿線情報誌「TOKK」（1） ・エンタテインメント情報誌「カンフェティ 関西版」（2）
ポスティング	1	公演チラシ配布（庄内地域）

広報・宣伝事業については、多様な媒体を活用した情報発信により、利用者との接点拡大及び認知向上に一定の成果が見られた。一方で、ウェブサイトの回遊性や構造面には課題が残っており、今後は、各媒体の役割整理を進めるとともに、より効果的な広報手法の検討及び改善を図っていく。

4. 施設の運営に関する業務

(1) 貸館事業（施設の提供）

① 施設利用状況表（開館日数、利用可能区分、利用件数、利用人数、利用日数、利用率、稼働区分/時間数、区分/時間稼働率）

施設名称	開館 日数	利用可能区 分	利用件数	利用人数	利用日数	利用率	稼働区分数	区分稼働率
1 文芸大ホール	274	822	206	150,156	236	86.1%	620	75.4%
2 文芸中ホール(アクア)	156	465	144	36,921	140	89.7%	359	77.2%
3 文芸小ホール	295	772	341	42,155	293	99.3%	726	94.0%
4 展示室	302	906	121	27,336	233	77.2%	615	67.9%
5 多目的室	306	918	237	32,035	284	92.8%	695	75.7%
6 ローズ文化ホール	291	803	187	40,060	204	70.1%	490	61.0%
7 伝統芸能館	305	911	295	9,788	234	76.7%	399	43.8%
8 市民ギャラリー	305	610	59	12,758	278	91.1%	508	83.3%
合計			1,590	351,209	平均利用率		平均区分稼働率	
					85.4%		72.3%	

施設名称	開館 日数	利用可能 時間	利用件数	利用人数	利用日数	利用率	稼働時間数	時間稼働率
1 アクア音楽室	177	2,301	498	4,426	177	100.0%	1717	74.6%
2 アクア練習室	177	2,301	533	4,270	177	100.0%	1751	76.1%
3 練習室1	309	4,016	1,071	5,772	309	100.0%	3301	82.2%
4 練習室2	308	4,002	792	8,925	308	100.0%	3189	79.7%
5 練習室3	309	4,016	1,086	4,199	309	100.0%	3219	80.2%
6 ミーティングルーム1	308	4,004	434	4,334	293	95.1%	2282	57.0%
7 ミーティングルーム2	309	4,017	467	3,357	296	95.8%	2203	54.8%
8 ミーティングルーム3	309	4,017	440	2,978	277	89.6%	2044	50.9%
9 スタジオ	309	4,017	1,500	2,614	309	100.0%	3284	81.8%
10 和室	308	4,004	505	2,628	290	94.2%	1715	42.8%
11 ローズ会議室	307	3,981	243	1,904	205	66.8%	1310	32.9%
合計			7,569	45,407	平均利用率		平均時間稼働率	
					94.7%		64.8%	

② 施設来館者数集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文化芸術センター													
大ホール	8,366	10,334	12,635	12,669	17,312	8,878	10,591	15,429	11,371	10,980	16,477	15,114	
中ホール	0	0	0	0	0	4,893	4,679	6,054	7,348	3,460	4,725	5,762	
小ホール	3,521	3,589	3,318	5,292	4,438	3,552	3,878	3,130	3,218	2,316	3,507	2,396	
展示室	965	1,612	2,995	2,248	1,058	2,535	3,028	5,144	4,231	653	1,326	1,541	
多目的室	1,710	1,860	1,840	5,433	1,698	3,782	1,990	4,395	3,445	1,329	2,260	2,293	
諸室	2,780	2,875	3,138	3,329	3,326	3,837	4,366	4,366	4,288	3,525	3,673	4,000	
エントランス	344	464	339	505	370	1,139	461	461	355	394	1,111	1,200	
カフェ	4,298	4,572	4,396	5,112	5,173	5,396	5,618	5,772	4,421	3,648	4,652	5,931	
キッズルーム	250	347	416	428	574	615	508	508	356	509	437	538	
合計	22,234	25,653	29,077	35,016	33,949	34,627	35,119	45,259	39,033	26,814	38,168	38,775	403,724
ローズ文化ホール													
ホール	2,136	5,312	2,572	5,244	3,113	3,007	2,779	3,586	3,494	1,667	3,691	3,459	
会議室	114	147	168	139	219	110	145	204	194	100	170	194	
受付	123	194	165	125	85	112	115	121	143	124	312	105	
合計	2,373	5,653	2,905	5,508	3,417	3,229	3,039	3,911	3,831	1,891	4,173	3,758	43,688
伝統芸能館													
多目的ホール	936	387	616	560	800	1,033	1,122	820	818	664	1,112	920	
ロビー	79	181	147	57	66	57	46	187	65	45	54	50	
合計	1,015	568	763	617	866	1,090	1,168	1,007	883	709	1,166	970	10,822
市民ギャラリー													
合計	868	1,178	688	709	902	1,023	1,677	1,383	1,192	916	1,427	795	12,758
市民ホール等 合計	26,490	33,052	33,433	41,850	39,134	39,969	41,003	51,560	44,939	30,330	44,934	44,298	470,992

③ 各施設の利用状況について

1) 文化芸術センター

本年度は、年間で大ホール利用率が 86.1%、中ホール 89.7%、小ホール 99.3%といずれのホールもサービスレベルの最高評価サービスレベルを超える年間稼働を維持することができた。しかしながら利用率が高いことによる、施設や付帯設備の消耗及びサービス提供の質の維持が課題となっている。

展示室・多目的室の利用率は、展示室 77.2%、多目的室 92.8%と、いずれも目標水準の 60%を大きく上回る実績となった。また、展示室・多目的室を除く諸室の年間平均時間稼働率も 68.0%と高水準を維持している。

利用者の利便性向上と事務効率の向上を目的に導入しているキャッシュレス決済サービスの利用率については、毎年右肩上がりが続いており、利用しやすいサービスとして定着してきている。

2) ローズ文化ホール

本年度貸館業務は、年間平均 70.1%の利用率と一昨年度（令和 5 年度）の利用率を 6.0%増加した。同時に要求水準に対し 19.1%の増加となった。特筆すべきは令和 8 年 4 月からの自転車の新制度に対して、3 月 12 日に、豊中南警察の協力のもと、自主的に自転車交通安全講習会を開催した。反響は大きく 140 名の入場があり、「非常に為になった」など参加者からは高評価であった。今後も市民の要求に対して耳を傾け、その要望にできる範囲で答え、地域に密着し

連携していきたいと考える。

令和 6 年度の大規模改修工事後、ご利用が遠のいた利用者がまだ数件おられることから、これらの利用者様への営業活動を強化するとともに、新規利用者の促進も積極的に取り組んでいく。

令和 3 年度から利用促進施策として取り組んでいる「学生団体割引制度」については、昨年度年間で 20 団体の利用があり、昨年度からは 143%の増加となり、利用に対する施策としてはかなり定着してきている。これからは共同の事業も考え公民学連携への足掛かりとしたい。

3) 伝統芸能館

多目的ホールの平均利用率は 76.7%と前年度(79.9%)からわずかに減少したが、要求水準に対しては 6.7%上回っている。本年度は自主事業(共催事業含む)をすべて無料で 12 事業実施し、市民の皆さまに大変喜んでいただくことができた。その中でも小学生を対象とした「日本の伝統芸能にふれよう～文楽ワークショップ～」は、初めての企画だったが、予想を上回る応募があり、貴重な体験ができたと保護者の方にも大好評だった。他にも「豊中芸人倶楽部寄席」や「伝芸 怪談×会談」は、応募者多数により抽選を行うなど人気を得ている。今後も市民の皆さまに喜んでいただけるような事業を企画し、実施していきたい。また、親しみやすい施設を目指し、七夕の季節に笹を置き、願い事を書いて飾っていただく試みをしたが、子どもから大人まで多くの方々にご参加いただいた。

施設維持管理の面では、開館より 30 年が経ち、多目的ホールの空調機が故障したため、更新工事が必要となった。他にも舞台設備・ホール以外の空調設備・電気設備・駐車場前の格子扉など、各所で老朽化が進行しており、早急な対応が求められる。現在、豊中市において大規模改修工事の検討が進められており、当該工事が実施された場合には、これらの老朽化案件への対応が図られることが期待される。

4) 市民ギャラリー

市民ギャラリーでは、前年度に引き続き、利用者を広げるために施設の空き期間を利用し「オープンギャラリー」に取り組んだ。今年は、特に「ストリートピアノ」連携企画や子ども向けワークショップなど、地域の子どもの参加を促進する企画に力を入れた。結果、年間利用者数は 12,758 人となった。また、利用率も 91.1%と目標水準の 60%を大きく上回り最高評価サービスレベルに達した。引き続き、地域の幅広い世代に利用いただけるよう利用促進に努める。

5. 施設及び設備の維持管理に関する業務

豊中市市民ホール等指定管理者業務仕様書に定められた施設及び設備の維持管理に関する業務を行った。各業務の概要は以下の通りである。

(1) 舞台の管理に関する業務

文化芸術センター、ローズ文化ホールともに、経験豊富な舞台技術担当者による日常保守点検を実施した。定期保守点検については、保守点検業者及び設備・機器メーカーと連携すると

ともに、メンテナンス担当者と綿密な相談のうえで滞りなく実施した。舞台設備においては経年劣化による不具合箇所が増加している中、大掛かりな修繕の中でも緊急を要する修繕箇所の洗い出しを行い、市と連携して修繕を行った。また、スタッフがお客様と綿密に打ち合わせを行い、催事のイメージを共有することで、ニーズと予算に応じた舞台づくりを実施し、相談会や見学会の定期開催を通じて利用者支援にも取り組んでいる。

文化芸術センターでは、本施設の運用ニーズに対応するため、大阪共立本社が新たに購入した LED 照明機材をレンタル備品として常設導入した。これにより、従来要望の多かった多彩な照明演出が可能となるとともに、機材の持込みに伴う運搬費等の利用者負担が軽減されることで利便性の向上にもつながり、利用者からの満足度を得ている。

中ホールでは、改修による休館期間中においても、工事関係者とコミュニケーションを密にとり、リニューアルオープンまでの準備を行った。休館開けも以前に増して高い稼働率を維持しており、舞台運営においても各催事へ円滑に対応している。

ローズ文化ホールでは、前年度の改修工事で更新された設備について、適正に維持管理並びに運用することで利用者からも好評を得ている。改修工事後に残された不具合に対しては、関係者と調整を行い迅速な対応を行っている。

(2) 施設及び設備の維持に関する業務

① 設備維持管理

文化芸術センターは、竣工より 9 年以上が経過し、各不具合案件が発生する中、優先順位を明確にし、適宜機器交換及び工事を実施した。また、経年劣化で不具合箇所が発生した原水ポンプ更新や消火設備の修繕を行った。修繕計画の実施にあたっては、できる限り安価かつ適切に修繕を行えるよう、定期的に施設利用に関する懸念点や法律に基づく懸念点を洗い出し修繕を行った。さらに、毎月実施の市モニタリングには文化芸術センターの設備管理責任者が毎回出席することで、市及び指定管理者内での適切な情報共有とあわせて、施設の一体的な維持管理を徹底した。また、日常業務においては毎朝ミーティングを実施し、設備・清掃・保安警備で情報共有を実施し、職員間で常に最新情報の共有を行った。

今後も、さらなる施設長寿命化を意図した明確かつ最適な修繕及び予防保全について提案していきたい。

② 清掃業務

文化芸術センターでは、衛生管理と美観維持に向けた清掃業務を適宜実施した。また、日常業務においては毎朝ミーティングを実施し、設備・清掃・保安警備で情報共有を実施し、職員間で常に最新情報の共有を行った。

伝統芸能館及び市民ギャラリーの清掃業務についても、文化芸術センター同様に適切な美観維持に注力した。

③ 保安警備業務

文化芸術センターでは来客者も訪問者も増加傾向にある中、イレギュラー対応も増加しているが、柔軟かつ迅速な対応に努めた。

緊急時や非常時における対応では、消防訓練をはじめ、さまざまなケースを想定した訓練やシミュレーションを繰り返すことで、引き続き有事に対する万全な保安体制の維持構築に努め

た。また、日常業務においては毎朝ミーティングを実施して、設備・清掃・保安警備で情報共有を実施し、職員間で常に最新情報の共有を行うことで、イレギュラー事象へも遅滞なく対応が出来る体制の構築に努めた。

さらに、文化芸術センターでは 2 カ月に 1 回豊中警察との定期ミーティングを実施し、ローズ文化ホールでも前掲の通り豊中南警察署の協力のもと、自転車交通安全講習会の実施など、密に情報共有や相談を都度行っている。

緊急時や非常時における対応では、消防訓練をはじめ、さまざまなケースを想定した訓練やシミュレーションを繰り返すことで、引き続き有事に対する万全な保安体制の維持構築に努めた。

(3) コミュニケーションロビー、ビュッフェの活用

コミュニケーションロビー内での飲食サービスの提供については、前年度に引き続き合同会社 COTATSU への運営委託とし、カフェ「ORION COFFEE」の営業を通じて利用者、来館者へのサービス提供を行った。年間来客数は、58,989 人と、昨年度比で 97.6%と昨年度を下回った(1,454 人減)。中ホールの工事期間の影響かと考えられる。一方で、売上は昨年度とほぼ同水準を維持した。また、カフェスタッフの接客サービスも高い品質で提供できており、安定的なオペレーションの維持により、ORION COFFEE ファンが年々増えている。

「こども食堂」については、地域での認知が広がり、年間で延べ 2,557 食の提供につながった。市内でも通年で実施している例は珍しく、地域への貢献につながっていると考える。引き続き指定管理者としても支援を行うことで、更なる地域貢献につなげたい。また、6 月と 7 月には大阪大学の教授による子供対象の「哲学カフェ」を開催。市の主催としては、コミュニケーションロビーを利用したイベント「TOYONAKA ART-BRIDGE」(東西軸活性化のイベント)が開催され、文化交流の場としての活用も広がってきている。

(4) 託児サービス及びキッズルーム

キッズルームの利用者は、1 年間で 5,486 名となり、昨年度の約 1.5 倍に利用者が増えた。ここ数年の酷暑の中、安全に遊べる場所としてかなり認知度が上がった事が要因かと考える。また家族ぐるみで父親や祖父母が乳幼児を連れてこられる姿も見られ、地域に密着した施設として定着してきている。施設内の玩具の消毒やエアコンの清掃など定期的に手入れをし、利用者アンケートの声を反映して玩具や絵本の追加を行った。

6. 運営組織についての報告

(1) 職員研修の取り組み、SDGsの推進等

運営サービス水準の向上と職員の専門性向上のため、例年通り内部研修の実施のほか、全国で開催された関連セミナーや外部研修等への職員参加を積極的に促進した。

SDGs推進の取り組みでは、前年度に引き続き豊中SDGsパートナーとして、館内及び自主事業のフライヤーなどにSDGsパートナーロゴを掲載し、「持続可能な社会」への貢献意識の取り組みと啓発に努めた。また、地域貢献活動として、文化芸能分野を専攻する大学生を対象としたインターンシップの受け入れを今年度も行った。ローズ文化ホールにおいては、近隣小学校の郊外授業において、ホールの運営に関する案内を実施した。また、前掲の通り「ORION COFFEE」のこども食堂の取り組みも定着し、地域への貢献につながっている。さらに、昨年同様に豊中市の出前講座を利用して「障害のある人について知ろう」という内容で「合理的配慮」について学び、すべての人が文化芸術活動にアクセスできる施設環境づくりに取り組んだ。

定番になった『マチカネくん』の飴は今年度マチカネワニの化石が天然記念物に認定されたことで、内外に豊中市イメージキャラクターを浸透させる役割も担った。

職員参加による研修・講習については次表の通り。

〔教育訓練、研修セミナー等の実施〕

区分	内容	実施日	開催場所および参加者数
安全	1 消防訓練(文芸センター)	令和7年7月9日	文芸センター
	2	令和7年12月24日	※中央公民館と合同実施
	3 消防訓練(ローズ文化ホール)	令和7年7月31日	ローズ文化ホール
	4	令和7年12月27日	※庄内体育館と合同実施
	5 消防訓練(市民ギャラリー)	令和7年5月9日	市民ギャラリー
	6	令和7年11月19日	
	7 消防訓練(伝統芸能館)	令和7年11月11日	伝統芸能館※石塚会館と合同実施
	8	令和8年2月18日	
研修・講習等	9 公文協研究大会	令和7年6月12日～13日	愛知県立芸術劇場 3名
	10 施設事務局次世代研修	令和7年6月24日	JCD東京オフィス 1名
	11 JTBグループDX研修動画視聴	令和7年6月7日	オンライン
	12 JTBグループビジネスメール詐欺研修動画視聴	令和7年6月17日	オンライン
	13 JTBグループ行動規範教育動画視聴	令和7年6月18日	オンライン
	14 JCD施設事務局責任者向けワンポイント講座視聴	令和7年6月26日	オンライン
	15 JTBグループITセキュリティテスト	令和7年7月29日	オンライン
	16 JCDサステナビリティ研修	令和7年8月1日	オンライン
	17 JCD ITセキュリティ教育研修	令和7年8月5日	オンライン
	18 施設事務局責任者口座「経理編」	令和7年8月15日	オンライン
	19 豊中市人権問題事業者学習会	令和7年8月16日	オンライン
	20 舞台技術勉強会	令和7年8月13日	大阪共立
	21 JTBグループコンプライアンス・個人情報研修	令和7年9月19日	オンライン
	22 全国劇場・音楽堂職員アートマネジメント研修会	令和7年9月17日～18日	国立オリンピック記念青少年総合センター
	23 施設事務局SNS活用セミナー研修	令和7年10月22日	オンライン
	24 全国劇場・音楽堂職員 舞台技術研修会	令和7年11月20日	長野県上田市 伝統芸能館 2名
	25 JTBグループITセキュリティ教育研修	令和7年11月27日	オンライン
	26 島根県舞台芸術セミナー	令和7年12月9～10日	島根県松江市 文芸センター 1名
	27 豊中市出前講座(障害のある人について知ろう)	令和8年1月14日	文芸センターにて 21名
	28 豊中市出前講座(障害のある人について知ろう)	令和8年1月22日	文芸センターにて 17名
	29 公文協 劇場職員セミナー2026	令和8年1月14日～16日	4名それぞれ多種の研修に参加
	30 東西軸周辺施設指定管理者ミーティング	令和8年2月6日	文芸センターにて 館長参加
	31 曽根まちづくり勉強会	令和8年2月12日	中央公民館にて 館長参加
	32 JCD 新会計システム研修会	令和8年2月12日～13日	淀屋橋カンファレンスセンター 6名
	33 公立ホール 劇場マネージャー研修会	令和8年2月28日	ステージラボ高知セッション 1名

7. 収支報告書

令和7年度（2025年度）豊中市市民ホール等 収支報告書

【収入の部】

(単位:円 税込)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
指定管理料	454,766,000	454,766,000	0	
指定管理料(精算分)	0	-1,148,278	△ 1,148,278	修繕費、備品購入費、学校減免制度精算分
利用料金(文芸・ローズ・伝芸・市民G)	157,578,000	165,907,122	8,329,122	施設利用料金、付常設備利用料金、伝芸空調故障による利用料金補填22,400円含む
文芸センター駐車場料金収入	13,800,000	12,079,100	△ 1,720,900	
自主事業収入	56,380,000	22,409,211	△ 33,970,789	チケット収入、共催負担金収入、助成金収入 等
友の会会費収入	2,400,000	291,500	△ 2,108,500	年会費収入
その他収入	1,200,000	1,493,074	293,074	販売手数料、チケット手数料、ピアノ体験会売上、コピー代 等
収入合計	686,124,000	655,797,729	△ 30,326,271	

【支出の部】

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
人件費	188,573,000	193,782,600	5,209,600	給与、手当、通勤費、社会保険料、福利厚生費、教育費 等
事業費				
利用料金学校減免制度	5,000,000	3,327,155	△ 1,672,845	※精算対象
出演料及び委託料等	106,900,000	63,300,163	△ 43,599,837	出演料、委託料等(施設利用料、付常設備利用料含む)
物件費(事業費)	111,900,000	66,627,318	△ 45,272,682	
物件費(施設維持管理経費)				
光熱水費(文芸)	58,272,000	55,478,978	△ 2,793,022	
光熱水費(アクア)	12,026,000	6,042,511	△ 5,983,489	
光熱水費(ローズ)	11,021,000	7,995,919	△ 3,025,081	
光熱水費(伝統芸能館)	3,043,000	2,901,692	△ 141,308	
光熱水費(市民ギャラリー)	723,000	665,197	△ 57,803	
ごみ処理委託料	792,000	1,240,447	448,447	
修繕費	20,000,000	20,561,460	561,460	※精算対象
備品購入費	3,500,000	3,463,107	△ 36,893	※精算対象
設備・警備・清掃管理業務費	117,038,000	120,997,959	3,959,959	臨時警備費、アクア維持管理費(按分)含む
市民ギャラリー共益費	1,173,000	1,173,132	132	
ローズ維持管理費(按分)	14,460,000	12,185,172	△ 2,274,828	
コミュニケーションロビー運営費	700,000	631,906	△ 68,094	行政財産使用料を含む
舞台操作・保守管理費	115,881,000	115,880,400	△ 600	
物件費(施設維持管理経費 計)	358,629,000	349,217,880	△ 9,411,120	
物件費(事務経費)				
旅費交通費	1,320,000	593,008	△ 726,992	職員移動交通費、出張旅費 等
会議費	132,000	0	△ 132,000	
消耗品費	4,752,000	3,560,103	△ 1,191,897	一般管球、消耗品 等
印刷製本費	2,640,000	1,471,573	△ 1,168,427	各種用紙、催事案内、コピー代 等
通信運搬費	2,640,000	2,616,090	△ 23,910	電話、インターネット、郵送代 等
広告宣伝費	6,600,000	3,114,566	△ 3,485,434	情報紙、ホームページ運営費 等
使用料及び賃借料	6,983,000	5,310,829	△ 1,672,171	コピー複合機、パソコン、チケットシステム、営業車 等
事務備品費	264,000	1,025,493	761,493	事務所備品 等
保険料	1,200,000	1,142,340	△ 57,660	施設賠償責任保険、興業中止保険 等
燃料費	66,000	37,468	△ 28,532	営業車ガソリン代
負担金	161,000	147,500	△ 13,500	公文協会費、研修会参加費 等
手数料	132,000	1,731,726	1,599,726	金融機関手数料 キャッシュレス決済手数料
公租公課	132,000	39,200	△ 92,800	収入印紙
物件費(事務経費 計)	27,022,000	20,789,896	△ 6,232,104	
支出合計	686,124,000	630,417,694	△ 55,706,306	
収 支	0	25,380,035		